

PRIMERA INTERVIEW

義理の弟が最近購入したクルマが、何とプリメーラ。ひとめ見て、欧洲で評価された理由がわかりました。

●現在は、主にどのような活動をしていらっしゃるのですか。

フォーク「2年前の'89年に日本勤務になったわけですが、そのときから AFP通信社の日本・韓国局長をしています。常に24時間体制でジャーナリズム活動を展開することが、私たちの仕事です。世界各国に知らせるに値する政治、経済を始めとする各分野のできごとを、幅広くカバーしています。」

●フランス生まれであると同時にヨーロッパでの勤務も長く経験されているわけですが、向こうの人々と日本人とでは、生活観や価値観にどのような違いがありますか。

フォーク「日本人の人々というのは、非常に行動的であり、勤勉だと思います。欧洲の人々が日本に来てまず驚くことは、店が毎日開いているということですね。これなども、日本人の人々の性格を良く現わしているのではないかでしょうか。ただ、逆にいながら、レジヤーにかける時間が少し足りないような気がします。欧洲と比較した場合、はるかに休暇をとっていますね。」

●では、カーライフということでは、どのような違いを感じられますか。

フォーク「まず、交通事情が大きく異なりますね。日本の道路は常に混雑しています

し、ドライバーにはかなりの忍耐が要求されます。しかし、日本の道路には多くのスポーツカーが走っています。つまり、日本の人々は非常にクルマが好きで、クルマそのものにステータスやプレステージを求めていたのだと思います。しかし、ヨーロッパでは、まず第一に実用性が重視されます。というのは、長距離を走ることが多く要求されるからです。日本の場合、東京→大阪間を移動する多くの人は新幹線を利用しますが、欧洲では900kmぐらいの距離でも、ほとんどの人がクルマを利用します。私の感じでは、欧洲の人々の方が、より幅広い用途に活用しているように思います。」

●プリメーラについて、何かご存じのことありますか。

フォーク「プリメーラのことは、とても良く知っています。というのも、オーストリアに住む義理の弟が、最近プリメーラを購入したばかりだからです。私も同乗させてもらいましたが、非常に完成度の高いクルマだと思いました。とても実用的ですし、スタイルのバランスも良く、信頼性も高い。それに、トランクルームも十分広い。義理の弟には子供が2人いるのですが、よく家族4人で長距離ドライブに出かけています。欧洲の人々の生活スタイルに、無理なくフィットするクルマですね。欧洲で多くの賞

を獲得したということですが、私にとっては何ら不思議ではありませんね。」

●このたび日産の英国工場で生産された5ドア2.0eGTが輸入という形で発売されるわけですが、このような現象をどのように感じられますか。

フォーク「今後ますます増えてくるのではないかでしょうか。欧洲の人々もプリメーラのようなクルマが自分たちの国々で生産され、販売されることを望んでいますし、日本への輸出というシステムも当然生産量の増大と比例していくと思います。」

●ところで、5ドアが日本よりも欧洲でのニーズが高いのはなぜだと思われますか。

フォーク「特にフランスでは人気が高いですね。やはり、使い勝手の良い点が好まれているのだと思います。クルマでレジヤーを楽しむことの多い欧洲の人々にとっては、何よりも大切なことですからね。プリメーラの5ドア2.0eGTのように、広さと優れた走行性能を備えているクルマであれば、その傾向はますます強まります。今後日本でも、レジヤーという文化が発達していくにつれ、このようなクルマが、より多くのシェアを獲得していくのではないかでしょうか。」

●今日はどうもありがとうございました。

ディディエ・フォーク氏プロフィール

1941年パリ生まれ。ジャーマン・ニュース・エージェンシーを経て、1974年より AFP通信社(AGENCE FRANCE-PRESS)に勤務。ロンドン、ニューヨーク、ワシントンDC、ウイーン、パリなど欧米の駐在員を勤め、1989年から日本へ。現在は日本・韓国総局長として、幅広く活躍している。趣味は、日本の骨董品収集。

また、クルマに関しては造詣が深く、特に英国のクラシックカーに興味を持っている。

